



無病息災・豊作祈願



＊ おおいだ 議会だより

No. **151**
2017. 1 .25
山形県大石田町ホームページ
<http://www.town.oishida.yamagata.jp>

◆第4回定例会
(12月8日～13日)

◆第3回臨時会
(10月28日)

地域にやさしい「間口除雪」はじまる！ 2
新たな農業委員会制度 議案の審議 4
347号通年通行どう活かす 「町の考えを問う」5議員が一般質問 6
真剣な議論にドキドキ！ 大石田小6年生が傍聴 12
追跡 ふるさと納税！ 16

発行 山形県大石田町議会

発行／山形県大石田町議会

発行責任者／議長 芳賀 清

編集／広報常任委員会・〒999-4112 大石田町緑町一番地

☎ 0237-532111

◆印刷 (有)印刷文化堂

町の起業家 Vol.2

大石田地区(桂木町) 村岡 雄 さん



大石田町鷹巣生まれ 32歳
高校卒業と同時に自動車整備士になる。
平成27年10月桂木町に「M's Auto」開業。
3人の男の子のお父さん。
趣味：野球・つり

あなたのお仕事はどんな仕事？
自動車の整備、販売、農機具や除雪機の点検整備もしています。
起業に対して公共支援は？
商工会の「チャレンジ山形助成金」を活用しました。
どうして大石田町で開業したの？
整備の仕事をしているうちに、いつかは地元でこの仕事をしたいと思っていました。様々なタイ



大石田小2年生が見学

ミンクが重なり、開業へ踏み切りました。
起業するにあたって思ったことは？
計画どおり集客できるか不安なところがありました。
今思うことは？
友人や地域の方々に助けられ不安も解消しつつ二年目を迎えられるています。
町に望むことは？
三人の子どもの親として、子育て支援を充実してもらいたい。

M's Auto (エムズオート)

大石田町桂木町14番地 4
TEL 0237-53-6795
FAX 0237-53-6796



今後の抱負は？
仕事をしている中で、近くの子どもたちや友人などが遊びに来てくれる時がホッとでき、地元の良さを感じます。信頼され気軽に来店してもらえ、店にしていきたいです。

■広報常任委員会■
委員長 村岡 昌一
副委員長 村岡 藤弥
委員 岡崎 英和
委員 小玉 勇
委員 遠藤 宏司

あけましておめでとう
ございます。
昨年は政府の景気対策の恩恵が、地方には全く及ばず、町民にとっては収入も増えず、各種の負担はますます重くなるばかりの年でした。そうした中でも、国道347号線は、この冬から通行可能になり、交流人口が増えれば冬期間も町の賑わいも増すことが期待されます。
また、秋口の9月には町民交流センター「虹のプラザ」が竣工し、町に活気が出るのが期待できます。
「議会だより」で明るいニュースを次々に届けられる年にしたいものです。
【記 遠藤】

編集後記

地域にやさしい「間口除雪」はじまる！

通学路なども対応

その実情を踏まえ、町が国の地方創生加速化交付金を活用して企画した事業だ。町が新たに導入した小型ホイールローダ2台と、歩行型の小型除雪機3台をNPOに貸与する。

作業はNPOの有償ボランティア会員が担う。2人1組で、小型ホイールローダ、小型除雪機を使い分けて除雪する。前日午後2時までの予約が必要で、間口や敷地にたまった雪を空き地や田んぼに飛ばす内容になるが、雪おろしや排雪作業は行わない。

今後は事業を進めながら随時改善を図り、有償ボランティア会員も全町に募って増員していく。地域課題を共有する町民同士の地域間、世代間交流の促進も視野に入れ町全体の活性化を目標にがんばってほしい。

間口除雪などをNPO（※法人「まちづくり大石田」が代行する、新たな除雪支援制度がスタートした。

昨年実施したアンケートでは、住みにくい理由「雪の多さ」との回答が実に8割、町民が近隣市町への転出が止まらない原因の多くを占める。

NPO法人による除雪支援内容

1. 除雪メニュー

- ①間口除雪支援：
県道・町道の機械除雪後（ドーザ等）の除雪支援
- ②敷地内除雪支援：
屋根からの落雪や敷地内に堆雪した雪処理の支援
- ③通学路確保
- 除雪方法
小型ホイールローダ又はハンドガイド式小型除雪機を用いてオペレーターと作業員の2名で作業を行います。
※原則、屋根の雪下ろしや雪捨て場への運搬（排雪）作業は行いません。



2. 利用料金

- ①小型ホイールローダによる除雪サービス
2名1組 30分当り 1,900円
1時間当り 3,600円
- ②小型除雪機による除雪サービス
2名1組 30分当り 1,800円
1時間当り 3,500円

3. 申し込み方法

- ・除雪を希望する前日の午後2時まで、NPO法人事務所へ連絡。現地確認のうえ、作業手配を行います。
- ・間口除雪は、降雪日（道路除雪の行った日）など、シーズンを通して行います。

※「NPO」とは？

NPOとは、Non Profit Organizationの頭文字をとったもので、非営利団体を意味します。要件としては、①民間で②公益に資するサービスを提供する③営利を目的としない④団体とされています。そのうち特定非営利活動推進法（いわゆるNPO法）にもとづいて、法人格を取得した団体をNPO法人と言います。

1月13日(金) 豪雪対策本部設置！

1月10日から降り続いた雪は、4日間で130cmを超え、さらに降り続くことを予測し、庄司喜與太町長を本部長として、豪雪対策本部を設置しました。

雪おろしなど除雪作業には十分注意し、雪の事故を防ぎましょう！

流雪溝は、水の流れを確認し、雪詰まりに注意しましょう！



提案型の議会活動に

あけましておめでとうございます。皆様には例年になく雪の少ない正月を健やかに過ごしの段お喜び申しあげます。

さて、国においては地方創生を推し進めており、わが町でも、元気で住み良いまちづくりのため、総合戦略を策定、雪対策など具現化に向け事業が展開されており、常々施策提案を念頭に活動してまいりますので、

議会としても、執行部への批判だけでなく、常に施策提案を念頭に活動してまいりますので、町民各位には力強いご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、新年の挨拶といたします。

平成二十九年元旦 大石田町議会議長 芳賀 清



7月改選期より農業委員の 選任方法が変わります。

～農地利用最適化推進委員が
新設されます～

★農業委員14名

(公募・推薦により、議会同意の上、
町長が任命)

★農地利用最適化推進委員10名

(公募・推薦により、農業委員が委嘱)

◎主な仕事(農業委員も農地利用
最適化推進委員も共通任務)

総会議決権は農業委員のみ

- 担い手へ農地集積・集約促進
- 耕作放棄地の発生防止と解消
- 農業への新規参入の促進
- 農地利用最適化推進に関する
指針の策定



米は町の宝(南小)

欠 員ができたときは
どうする。
町長 次回の改選期に補
充することになり、すぐ
選ぶ必要はない。

小玉 勇 議員

条 例にない青年と女
性をどうする。
町長 条文にはないが、
青年と女性を入れる。

村形 昌一 議員

農業委員会条例 設定(全員賛成)

遠藤 宏司 議員

改 正後、建議ができ
ないところがあるが、
町長 農業委員会と町が
問題を出しあい良い農政
を目指す。

大山 二郎 議員

新 たにできる推進委
員は月1回の定例
会に出席できるのか。
町長 出席し意見を述べ
ることが出来る。ただし、
採決には参加できない。

村岡 藤弥 議員

法 人運営のための補
助金はどこから。
町長 地方創生加速化交
付金として国からの補助
金として国からの補助
金として知らせるのか。
新 しい事業をどうや
って知らせるのか。
町長 チラシや区長、民
生児童委員を通して周知
させていく。

固定資産評価委員の任命に同意

小内英徳さん(横山)を固定資産評価
審査委員会委員として任命することに
全員が同意しました。
任期は平成29年1月20日から平成32
年1月19日までの3年間。



地域おこしの拠点となれ!(駅前)



1 月15日暮張に隊員
募集に行くところ
が、どんな人物に何を
してもらうのか。

各 議 員

地域おこし協力隊

一般会計 [全員賛成]

※SNSとは、
ソーシャル・ネットワ
ーキング・サービスのこと。
社会的ネットワークをイン
ターネット上で構築する
サービス。

現 代社会にマッチす
るSNS(※)を駆
使し、町を発信できる人
を採用すべき。
町長 そのつもりで隊員
を探す。

年 齢、男女の制限は
あるのか。
町長 男女雇用機会均等
法により男女を問わず20
歳以上とする。

町長 駅前の蔵を拠点に
賑わいの創出、町への移
住促進、最終的に町に定
住してもらうことの3点

町 民が大石田町にふ
るさと納税できる
のか。
町長 可能だが、町民の
場合は返礼品はない。

村形 昌一 議員

ふるさと納税

町長 返礼品も80品目に
増やした。トップセー
ルスに励み町の名を知らし
めていく。

返 礼品に紀文食品を
入れるべきでは。
町長 生ものが中心なの
で現在会社と話し合い検
討中。

遠藤 宏司 議員

1 億円が少ないとは
言わないが他では
何十億円のところもある
もって努力すべき。

村岡 藤弥 議員

参 議院選挙で12時を
すぎても報酬が1
日分であったというが。
町長 開票が9時開始で、
明確な基準はないが、1
時間以内のオーバーの場
合は1日分としている。

村形 昌一 議員

選挙立会人報酬



【追加議案】

一般会計 [全員賛成]

NPO法人の間口除雪

村岡 藤弥 議員

法 人運営のための補
助金はどこから。
町長 地方創生加速化交
付金として国からの補助
金として知らせるのか。
新 しい事業をどうや
って知らせるのか。
町長 チラシや区長、民
生児童委員を通して周知
させていく。



冬期通学路の安全確保を

村形 昌一 議員

通学路を中心に歩道除雪をしている

町 長



警察や県・町と入念な通学路点検
(佐田町)

通学路の安全対策
歩道のある栄町アパート前や役場前から大石田小までなど、車道を歩かなければならないが、町長 歩道幅員が狭く除雪機械が入れないという課題があるが研究している。大石田北小から県道に出る際、見通しが悪いが、町長 通学路の安全確保を第一に考えなければならぬ。見回りを強化し幅員確保を図る。見守り隊も増員すべき。町長 町としても考える。

通学路の事故が多発したため、国は安全対策に取り組むように通知したが、教育文化課長 危険な4ヶ所で改善を行った。今後も対応していく。通学路の除雪はどうする。まちづくり推進課長 町で新たに除雪機を購入し、NPO法人と連携し対応する。消雪道路の水の管理が不十分なため凍結するなど危険になるが、建設課長 今後、対応を徹底するようにしたい。スクールゾーンの場所と時間が現状にあっているかが。町長 相談して対応する。

全国学力テスト

今年度の結果は、教育長 全国・県の平均を下回っているが、教科の授業改善で結果も表れてきている。中学校では全国平均並みを維持している。しかし、家庭学習時間が非常に少ないのが課題だ。今後の指導にどう活かしていくか。教育長 「読む力」の向上と授業改善を校内研究の取り組みを中心として、県の掲げる「探求型学習」新聞を読むほど学力が高いというデータがある。当町でもできないか。教育長 本と新聞はとも大事だ。来年度からできないか調整してみる。他では学力向上に必死になっているが。教育長 点数争いではなく「15歳で夢を叶えるだけの知識を持てる教育」を行いたい。



雪に埋もれ歩けない歩道(大小前)

町の考えを問う

5議員が一般質問

一般質問とは…

議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質すことをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では5議員が一般質問を行いました。

遠藤 宏司 議員

- ◆国道347号の通年通行に伴い、交流人口の拡大と町内の各種産業の活性化を
- ◆文科省の「問題行動調査」で、いじめ件数が過去最大となったが、町の実態と対応は

10ページ

村形 昌一 議員

- ◆子どもの学力・学習状況を分析し、今後の指導に活かす
- ◆冬期間における通学路の安全対策を図る

7ページ

関 幸悦 議員

- ◆町民の健康管理をどうする
- ◆高齢者対策の考えは

8ページ

小玉 勇 議員

- ◆高齢者ドライバーの交通事故が相次いでいるが、免許証自主返納に取り組むべきでは
- ◆個性ある町づくりの推進を目指せ
- ◆いじめ事件の新聞報道が多いが、当町の状況はどうか。いじめによる不登校はあるのか

11ページ

村岡 藤弥 議員

- ◆保育所の利用者負担額の軽減はできないか
- ◆河川氾濫防止対策の考えは
- ◆生涯学習の拠点施設として町民交流センターの運営は

9ページ



町民の健康管理を徹底せよ

関 幸悦 議員

保健センターで展開していく

町 長



保健師による健康指導で安心

管理栄養士の採用を

町内で医療費・高額医療費の増大、生活習慣病である高血圧症になっていく方が多いとデータに表れている。社会情勢の変化に対応し、健康増進などの対策を充実し効果を上げるために、福祉部門に管理栄養士(※)の正規職員を採用し、町民の健康管理をする考えは、町長 食習慣については、食生活・栄養改善を行い、疾病の発症・重病化の予防をすることが必要。そのスペシャリストを配置して、指導していくことの必要性は認識している。

管理栄養士の職員の配置は、現在の状況を踏まえ「保健センター」で事業展開が可能か検討していく。

※管理栄養士

厚生労働大臣の免許を受けた国家資格。病気を患っている方などに専門的な知識と技術を持って栄養指導や給食管理を行う。

福祉バスの利便性を図れ

福祉バスは、毎週月曜日と15日に定期運行している。利用者の利便性を考慮して、手上げ方式やデマンド交通(※)を新設する考えは、

町長 運行業者や関係機関との協議が必要。交通手段の選定、利用料金の設定・整合性、経費面の検証など、多くの課題があるが、今後検討する。

※デマンド交通

予約型乗り合いタクシー(バス)のこと。予約し、乗り合う方の自宅を順番に迎えに行き、目的地まで送るサービス。

手上げ方式は、自宅前に立ち、運行しているバスに対し、手を上げて停車させる。

間口除雪を実施せよ

冬期間一人暮らし・高齢者夫婦の世帯では、除雪で苦労している。間口除雪をする考えは、

町長 地方創生加速化交付金事業として、新たな除雪支援事業を進めていく。事業内容は、交付金で取得した小型ホイールローダやハンドガイド式小型除雪機を利用して、NPO法人による有償ボランティアが間口除雪支援を行う。



高齢者の間口除雪は大変



保育料の軽減はできないか

村岡 藤弥 議員

児童手当で対応したい

町 長



子育てにやさしい施策を
(大石田保育園)

子育て支援は

町民税所得割額や同時入所など条件によっては第2子が半額、第3子以降は無料になるが、条件が厳しい。すべての第2子以降は無料にするなど、保育所利用者負担額の軽減はできないか。

町長 現在、町独自措置としては、2人以上の18歳未満の子を有する世帯で、国の利用者負担額軽減制度に該当しない児童に対し10%減じた額にしている。

創生総合戦略にある「多子世帯への保育料の負担軽減」はどうする。

町長 保育所利用者負担は現行制度を継続するが、児童手当などで対応したい。

29年度予算に反映させるのか。

河川氾濫防止対策は

人命を奪う河川の氾濫が各地で起きている。大災害が起きた時の防止策は、町長 パトロールを強化し、維持管理に努める。



増水時の安全対策を(H26・7)

交流センター

「虹のプラザ」の管理は、

町長 教育文化課・生涯学習グループが事務局となり行う。施設の規模からして現行の体制では厳しく職員を増員しなければと考える。

町長 最上川中流整備計画では、町を流れる最上川全域が「樹木管理と河道整備が必要な区間」と位置付けられている。早期実現するよう強く要望する。

利用促進対策は、

町長 子育て世代や高齢者の生きがいづくりなどの事業展開ができるよう、団体・サークルへの支援をする。またホールイベントは質の高い公演や音楽鑑賞などを行う。

オープンはいづ。

まちづくり推進課長 一般開放は9月1日。図書室は、

教育長 3月31日で図書室を閉館し、9月1日虹のプラザで開館する。



冬期間の交流人口拡大を

遠藤 宏司 議員

冬のイベントなどは簡単にできない

町 長



周年通行をどう活かす?! (記念式典)

冬期間の活性化 取組みは

国道347号が周年通行可能になった。農産物生産者や商業者、イベント主催者などと行政が連携、交流人口を拡大し、冬期間のまちの活性化に取り組む考えはないか。

町長 町外の人を呼ぶには非常に大がかりなものにしなければならず、冬のイベントは非常に難しい。

いじめ・不登校の実態と対策は

「問題行動調査」はどのように実施したのか。

教育長 文部科学省が毎年度、都道府県及び市町村教育委員会を通じて学校に調査票を配布し、いじめなどの状況等について調査している。



楽しい学校生活を!

当町における調査の結果はどうだったのか。

教育長 いじめの認知件数は前年度より、小学校は増加し、中学校は減少した。不登校の割合は少数であるが、前年より若干増加した。

児童生徒や保護者からの相談への対応は。

教育長 児童生徒は、学級担任または養護教諭に相談するケースがほとんどである。いじめを認知した場合は、町基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針に従い解消に努めている。いじめの解消率は小学校99・8%、中学校99・9%。「重大事態」は発生しておらず、安堵している。



運転免許証の自主返納に取組め

小玉 勇 議員

返納時の支援策を検討する 町 長

運転免許の自主返納者への特典(近隣市町)	
尾花沢市	市営バスの回数券を2千円分交付
村山市	市営バス乗車券、乗り合いタクシー乗車券、楯岡交通タクシー券のいずれかを3万円分、あるいは山交バスの1ヶ月定期を3ヵ月分交付
東根市	市内のタクシー会社2社で使える共通乗車券を2万円分交付
河北町	町営バスの1年間無料乗車券を交付。更新可
大江町	町営バスかデマンドタクシー3年間無料乗車券、県タクシー共通乗車券か山交バス普通乗車券2万円分の4種類のうち一つを交付
朝日町	県タクシー共通券、山交バス普通乗車券、デマンドタクシー乗車券のいずれかを2万円分交付

高齢者の事故対策

高齢者ドライバーによる事故が相次いでいるが対策を考えているのか。

町長 免許証の事務は公安委員会がする。町では認知機能低下などにより車を運転しなくなる高齢者の移動支援や交通対策を充実していくことになる。

現状の支援は。

町長 毎週月曜日と毎月15日に定期運行している無料の「福祉バス」と70歳以上で車を持たない住民を対象とする「高齢者タクシー事業」がある。

今後どうするのか。

町長 高齢者が車を持たなくても不安なく安心して生活できるように現行

認知症カフェ

の移動支援とともに免許証自主返納時の支援を検討していく。

町長 仁風荘内に地域交流カフェ『かぜ』が開設された。月1回程度オープンし家に閉じこもりがちな高齢者に交流の場を提供して認知症予防につなげている。

町独自ではなにをしているのか。

町長 「いきいき百歳体操」をきっかけに「地域づくりによる介護予防」を推進しており現在朝日町老人クラブなど2か所



いきいき百歳体操!(上ノ原老人クラブ)

個性のある町とは

国道347号が周年通行可能になった。どんな町にしていきたいのか。

町長 山形県宮城県の間

係4市町で組織している「絆」交流推進協議会では、多様な連携を通して交流人口の拡大を図り、それぞれの資源を活用した地域の活性化に努めていく。

具体的には。

町長 住民が胸を張れる「本物」が必要不可欠だ。最上川による歴史・文化・景観、そして何よりも生産から取り組むそばや漬物を中心とした食文化は町民の自慢。これまでに以上一層磨きをかけて「もてなしの文化」を発信していく。



村形 歩
あゆむ

議会は、大石田町を支える大事な会議であることを実感しました。
議題は子どもの学力のことでした。大石田町の学力は全国より低いので、これからの対策について大事なことを話し合っていました。また、点数を上げることより、夢に向かっていく基礎をつくるのが大事だという話をしていました。ぼくは、話し合いを聞きながら、学ぶことを大事にして夢に向かって励んでいこうと思いました。
議会見学を経験を生かして大石田町に貢献できる人になりたいです。



議会を見学して、話し合い方を学ぶことができました。
町議会では、指名されると返事をして素早く立ち、はっきりと自分の意見を言っていました。議員さんは、除雪について、こうすればもっと通学が楽になると、しっかりと意見を持って議事に臨んでいました。
私は、委員長として委員会を進めています。町議会とは話し方に大きな差があります。自分の意見を持つことや積極的な態度など、見学をして学ぶことができたので、これから役に立てていきたいです。

熊谷 瑠珂
るか



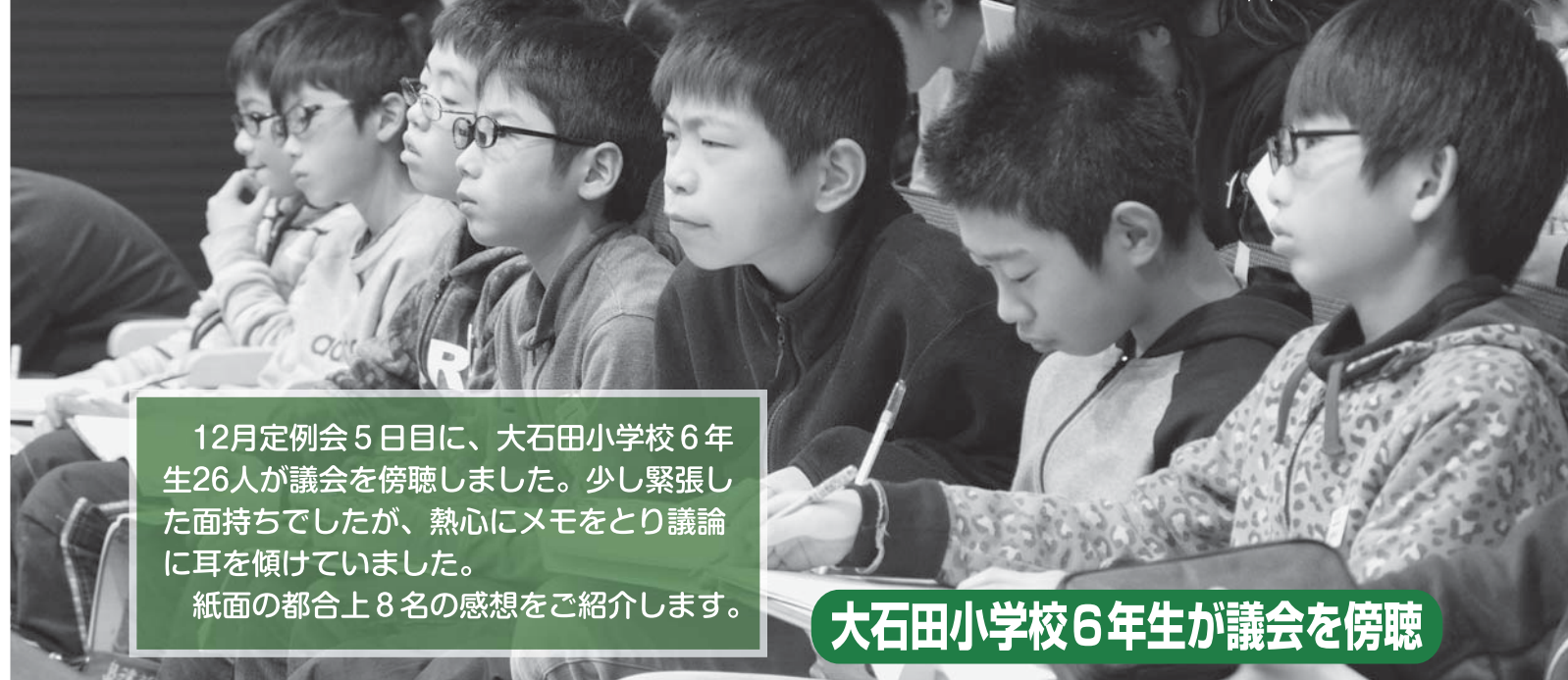
今野 佑泉
ゆうい

議会を見学し、私はいろいろ考えました。歩道に除雪機が入らないので除雪できないという話は、なるほどと思いました。私の通学路も歩道に雪が積もり、道路もせまくなっています。でも、それに対する対策を考えていることも知りました。
教育長さんのお話の中には、自分の夢を叶えるために努力が大切だということ、夢を叶える一つの方法が、選挙でいい議員さんを選ぶことということがありました。私は大きくなっても、このお話を心に留めておこうと思います。

町議会で発言した皆さんの発言を聞いて、真剣に子どもたちの事を考えてくださっていることを知りました。
私は学習の時、点数だけを見てしまっことが多かったのですが、教育長さんのお話を聞いて、将来、立派な社会人になって夢をかなえるために力をつけることが大事だと分かりました。これからは新聞を読み、自分に力がつく学習をしていきたいと思っています。そして、18歳になった時、町長さんや議員さんを選ぶ社会人になりたいです。

高橋 由衣
ゆい

真剣な議論にドキドキ！



12月定例会5日目に、大石田小学校6年生26人が議会を傍聴しました。少し緊張した面持ちでしたが、熱心にメモを取り議論に耳を傾けていました。
紙面の都合上8名の感想をご紹介します。

大石田小学校6年生が議会を傍聴

議員さんの質問は子どもの学力・学習状況と、冬期間における通学路の安全対策についてでした。話し合いの様子を見て思ったことは、テレビで見る国会はもっと激しくて、もめ合っているようだけれど、町議会は穏やかにきちんと意見を言い合っているなということです。それに、話し合っている内容が、学力、安全、健康などいろいろで、子どもからお年寄りのことまで考えていることが分かりました。町議会を見学できたことは、とてもいい経験になりました。

島津 諒大
りょうた

議員さんと教育長さんが、子どもたちの学力・学習状況を分析して今後の授業に活かさないかと話し合っていました。そこで、子どもたちの読む力を向上させたい、家庭学習の時間が足りない、ノートを活用して勉強ができるようにしたいなど、多くの課題があることを知りました。
私は何も知らずに勉強していましたが、私たちは期待されているのだから、その期待を裏切らないという気持ちになりました。これからもっと勉強をがんばっていきましょう。

海藤 みあ



私たちが4月に受けた学力・学習状況調査について話し合っていました。国語のB問題の文章の読み取りができていないのは、私もそつだと思いがちでしたが、学力がよくならないのは、学習時間が短いことが一番の問題だということも分かりました。そこは、私たち一人一人が、がんばらないといけないことだと思いました。
町議会を見学させていただいたことで、私がんばることが分かってきたので、今の気持ちを大切にしていきたいと思っています。

伊藤 千織
ちおり

町議会では、通学路安全対策について、除雪は通学路を中心に行う方がいいという話し合いをしていました。ぼくは、登下校の時に歩道に雪が積もっていると車道を歩くことが多く、危険だと毎年思っていました。ですから、通学路を中心に除雪するには賛成だと思いながら聞きました。町議会では、小学生、中学生の安全を守るために、真剣に話し合っていることがよく分かりました。話し合いを見て、大石田町はきっとより良い方向に進むだろうと思いました。

押切 竜之進
りゅうのしん

町づくりに行政調査レポート 活かします

厚生産建常任委員会 広島県

11/14～11/16

- せら 世羅町「町役場」・「世羅高校」
- あき おおた 安芸太田町「町役場」
- たけはら 竹原市「アヲハタ本社」

総務文教常任委員会 石川県

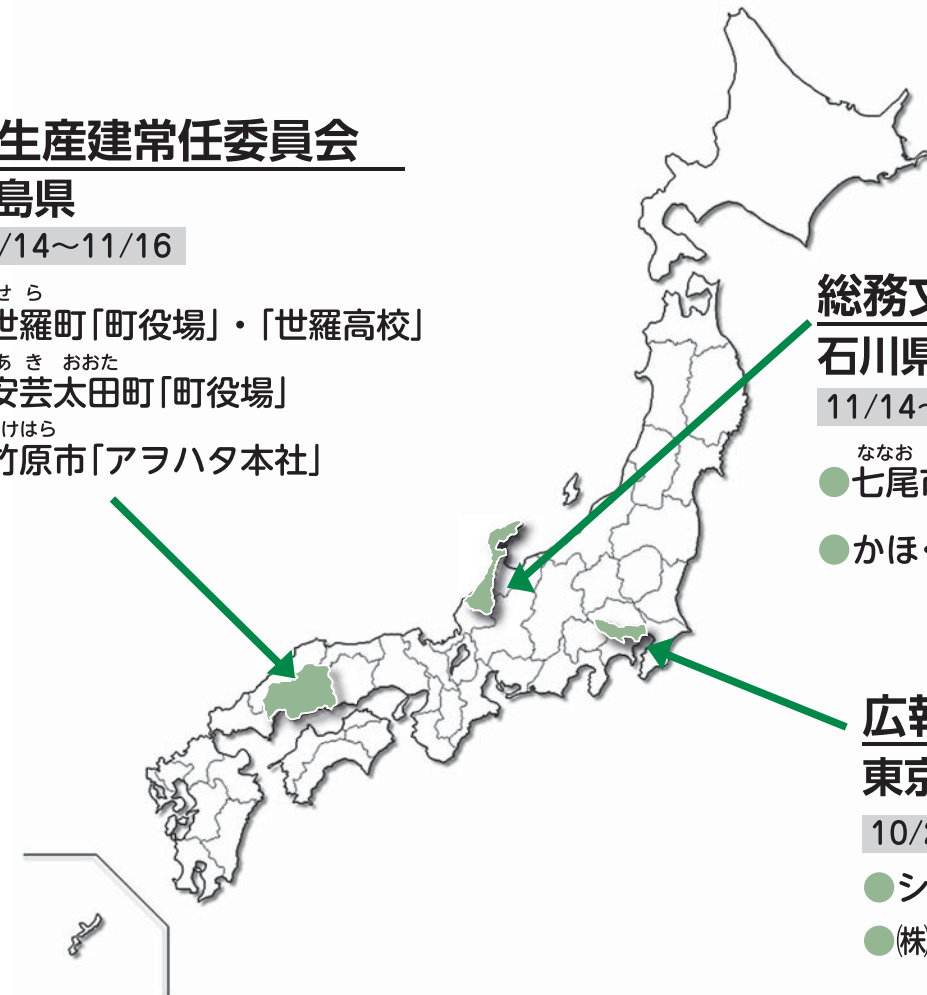
11/14～11/16

- ななお 七尾市「市役所」
- かほく市「市役所」

広報常任委員会 東京都

10/25～10/26

- シェーンバッハ「サボー」
- 株きかんし



全国ランキング

七尾市	チャレンジしたい若者におすすめの田舎部門	第1位
	高齢者が住みよい街	第1位
	出産子育てしやすい街	第5位
かほく市	働く世代住みよい街	第4位
	住みよさランキング	第7位

石川県七尾市及びかほく市へ行政調査に行ってきました。両市とも合併で市となり、当町と比較して人口・予算規模とも数倍の差はあるものの、取り組んでいる内容は見習うものがたくさんありました。

手厚い助成で定住促進

総務文教常任委員会

両市とも、高齢者・子育て世代・若者も含めて、定住・子育て・医療・保育等に対する助成制度が充実しています。また、いろいろな施策・情報発信等で、若手職員や子育て世代・専門家・区長・地区民等を巻き込んで、人力・知識・知恵・アイディアを出し合い、住みよい町づくりをしています。



ランキングに納得！

当町も行政まかせでなく、町民全員の力を集結して町づくりをしていく必要があると再認識しました。

【記 大山】

高齢化率48%に学ぶ

厚生産建常任委員会

中国山地は全国でも先鋭的に過疎化が進んでいました。

この度、広島県世羅町、安芸太田町を訪ね、その取り組みについての苦労話を話し合い、10年20年後の大石田町を考えると、決死の覚悟が必要であると感じました。世羅町は、6次産業化に力を入れており、

1+2+3+6という足し算ではなく、

1×2×3+6とする掛け算で捉えていました。

1次産業がゼロならば答えはゼロにしかならない。

農業や水産業などを最重要なものとしています。

安芸太田町は、維持継続が困難な集落の生活を支援し、「この土地を守りたい」「集落で生まれ、

逝きたい」の願いを支えていました。

合理的、コンパクト化

の思考とは正反対で金も時間もかかる活動をしていました。しかし25軒中21軒空き家、6世帯8人、

高齢化率100%という那須集落。たった8人のための取り組みは人間性を強く感じる一つの実験

に思えました。中国山地安芸太田町の那須集落は桃源郷かもしれない。

また、大石田町に働く場をつくり人口減少の歯止めに貢献しているアヲハタの本社（竹原市）を訪ね、ボランティア活動支援への取り組みについて実態を伺いました。企業の社会に対する責任を強く感じる活動でした。

【記 小玉】



充実した6次産業商品「世羅夢公園」



6次産業に取り組む「世羅高校」

読まれて、伝わる広報とは！

広報常任委員会

我々の評価は？

事あるごとに、全国最優秀賞を取るのが目標と言ってきましたが、最新の編集テクニクはどうか、評価の高い部分は何か、また改善すべき点は何かを中心にスキルアップすべく勉強してきました。

また「クロスメディア総合宣伝センター（株）きかんし」ではプロのみなさんの目から見た指導をいただきました。そのなかで、我々のレベルは非常に高いとお褒めをいただいたのはとてもうれしい事でした。左に（株）きかんし黒川氏から頂いたメールを抜粋します。

【記 村形】

大石田町議会の広報委員会の皆様が大変熱心に広報紙制作に努力されていることをひしひしと感じました。こちらの説明一つひとつに真剣に耳を傾けている姿は、私たちもあまり経験のないものでした。町民の皆様読んでいただける広報紙をいかにつくるかを研究されていることに、私たちが励まされました。

（株）きかんし取締役黒川



（株）きかんし社内「大型印刷機」を見て



全国の議会だよりで学ぶ

追跡 あれはどうなった？

平成28年 人気返礼品ベスト3(件数順)
12月末現在

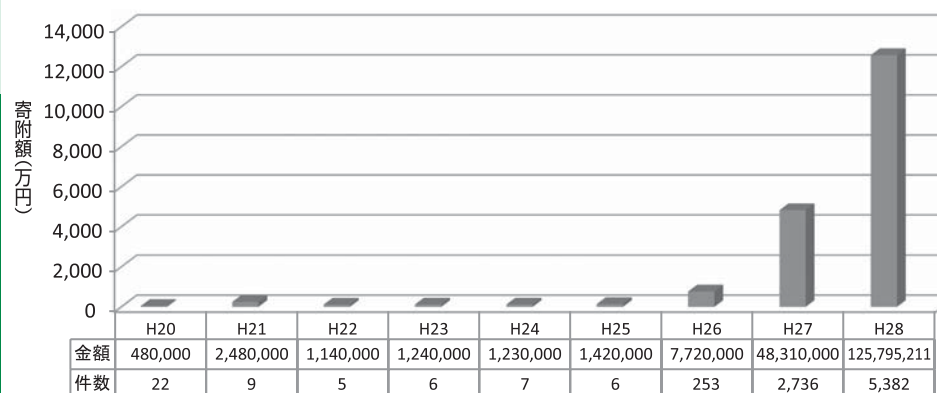
第1位	尾花沢スイカ大石田産 5L×2玉	1,047件
第2位	赤坂あじさい 「和風おせち三段重」	989件
第3位	はえぬき60kg(玄米) 「特別栽培米」	471件

ふるさと納税

(正式名：ふるさと応援寄附金)



大石田町ふるさと応援寄附基金



より高みをめざせ！

1億円突破！

平成28年
人気返礼品



「赤坂あじさい」のおせち「店主：佐藤弘治さん(仲通出身)」

これまで議会では積極的にふるさと納税をしてもらうようにと提言を繰り返してきました。返礼品を充実させ、「ふるさとチョイス」などのポータルサイトの利用をうながしてきました。さらに、クレジット支払いなどの利便性を高めるなど、寄附者に魅力ある自治体になるよう求めてきました。

この度、ようやく寄附金が1億円を超えましたが、これからもより多くの寄附をいただき、町づくりに活かしてほしいものです。

前年比
260%
アップ！

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は

3月3日(金)～3月15日(水)の予定です。

お気軽においでください。
(議場は役場3階です)

お問い合わせ先

大石田町議会事務局

電話 35-2111(内線312) FAX 35-2118

台風による災害復旧関連・町道次年子南路線関連

工事請負費等を増額補正

第3回
臨時会
10/28

●一般会計補正予算(第3回)専決処分の承認

台風9号による災害復旧に関する調査等を行うため 1,349万円を追加。

●一般会計補正予算(第4回)

町道次年子路線道路改良事業関係と台風被害の工事を行うため 4,321万円を追加。



熱い！意見を交わす両委員長

愛知県愛西市議会広報特別委員のみなさんが、11月17日大石田町議会広報常任委員会に視察に訪れました。議会だよりの割付や質問内容、写真の撮り方など、熱心に質問され、中身の濃い研修内容となりました。

11/17 愛知県愛西市議会 広報特別委員会来町 互いに有意義な研修

あいさい

2016「年末の出来事」

10/21 ラッピングトラック出発式



全国に「おいしいんだ大石田」を発進！



環境衛生事業組合

11/7 汚泥再生処理センター竣工



最新システム導入！

「絆」交流促進協議会

11/19 国道347号通年通行開始



宮城県・山形県の「絆」深まる

請 願 意 見 書

平成30年産を目途とする生産数量目標配分の見直しにかかる 大石田町農業再生協議会の機能発揮に関する請願

- ◆請 願 者 みちのく村山農業協同組合 代表理事組合長 高谷 尚市
- ◆紹介議員 齋藤 公一
- ◆請願要旨 平成30年産以降においても、行政の積極的な関与と指導のもと、オール日本・山形・市町村で米の需給調整に取り組むため、大石田町農業再生協議会にかかる十分な予算・要員の確保をお願いする。

全員賛成



地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を提出

全員賛成



◆意見書要旨◆

地方議会議員の活動も幅広い分野に及びより積極的な活動が求められている。しかし、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。よって、幅広い政治参加や地方議会における人員確保の観点から地方議会議員の厚生年金制度への加入のため法整備を早急に実現するよう強く要望する。

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官
総務大臣
財務大臣
厚生労働大臣

表紙の写真

1月15日に行われた東町地区の育成会行事「だんごさし」の様子です。
大石田町の子どもの数は年々減少している現状ですが、地域の行事を大事にし、大人になっても子どもに教え、引き継いでほしい行事のひとつです。
「だんごさし」とは、水木（ミズキ）に米の粉を丸め、赤色などに着色しただんごを作り、木に付けます。また、もなかの皮のようなものを2つ合わせて丸くなるように付けるものもあります。
「無病息災」や「豊作祈願」の小正月行事です。
養蚕が盛んな頃はまゆで飾りを作り、養蚕の成功を願うとされてきました。
子どもたちの変わらぬ笑顔と大石田町の更なる発展を願い、この表紙とさせていただきます。